

【テーマ1】 団体名 横浜国立大学

教職タレント発掘キャラバン
ーダブルインターンシップを軸にした教職キャリア形成の促進ー

調査の概要

◆課題認識

- ・小学校を中心として教員採用試験倍率が低下
- ・教員の質の向上が課題

◆調査研究の目的

- ・教職を目指す高校生の要因を明らかにする
- ・学生が教職を目指さない理由を明らかにする
- ・入職後に困難を乗り越える要因を明らかにする
- ・実践的な活動により教育実習、採用後研修へ繋ぐこと
- ・教職を目指す高校生の発掘方法を模索すること
- ・高校生向けインターンシップを実施すること
- ・高校生向け教職の魅力発信する映像を制作すること

◆調査研究の方法

- ・高校生調査を実施する
- ・大学生への調査を実施する
- ・高校生調査を実施する
- ・大学生への調査を実施する
- ・教員調査を実施する
- ・実践的活動を実施する
- ・魅力発信映像を作成する

◆調査研究校

- ・神奈川県横浜市
- ・神奈川県立光陵高等学校
- ・横浜国立大学

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

- ・高校生が教職を目指す理由は、魅力的な教師との出会い、人とのかかわりや教えることの楽しさ、職業体験や自身の経験、教科・学習内容等の興味・楽しさであった。

②ポイントB

- ・学生が教職を目指さない理由は、教育実習等による教育現場の多忙さの経験、企業の可能性の認知等であった。

③ポイントC

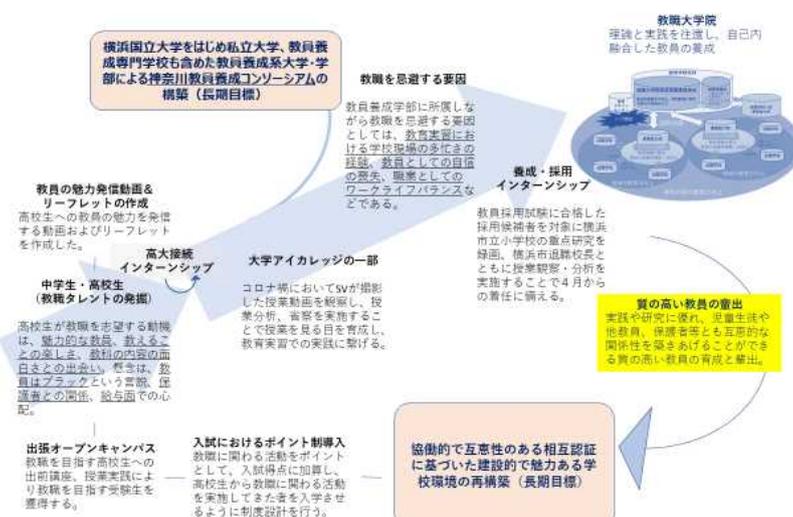
- ・コロナ禍により学校インターンが不可能な状況下で、重点研究の授業動画等を視聴し、SV（対象校長）と省察することにより、2年生の教職インターンシップ、教員採用試験合格者の採用インターンシップを実施できた。

④ポイントD

- ・教職を目指す高校生向けセミナーに講師を派遣するとともに、独自に複数校に出張オープンキャンパスを実施した。

⑤ポイントE

- ・横浜市教育委員会と共同により高校生向け教員の魅力発信映像コンテンツ（動画およびリーフレット）を作成した



2020年度 教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 事業（教職の魅力向上に関する取組）
教職タレント発掘キャラバン ーダブルインターンシップを軸にした教職キャリア形成の促進ー

今後の課題

◆高校生教職タレントの発掘および養成研修の一貫化のさらなる取り組みの継続

- ・コロナ禍により終了できなかった教員向け調査（ヒアリング）を継続実施する。
- ・高校生インターンシップ継続化、教員の魅力発信動画の活用に向けてアクションプランを作成する。
- ・教職課程の学生のキャリアパターン分析を継続し、学部・大学院運営に実装する。
- ・神奈川県や他大学の連携への拡大の模索

※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。

※ 別紙イー②については、文部科学省において公表する。